

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2025年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	研究科造園学専攻				
科目名称	西洋庭園学特論Ⅱ				授業形態	講義・演習			
科目コード	642462	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	平岡 直樹							ICT活 用	○
授業概要	本授業の目的は、まず西洋庭園の特徴を理解した後に、その空間構成手法や景観特性を分析評価する知識や技術を身につけることである。 次に、歴史的西洋庭園の現在における維持管理の特徴や技術などを学び、その特長や課題を見出す。								
関連する科目	西洋庭園学特論Ⅰ、東洋庭園学特論Ⅰ、近代庭園学特論Ⅰなどを受講ししっかりと復習しておくことが望ましい。								
授業の進め方 と方法	配布資料等で西洋庭園の事例を見たのちに、構成手法、景観特性について学ぶ。また、それぞれの様式ごとに維持管理手法について学ぶ。その他様式との比較を通じ西洋庭園の管理の特長と課題を考察する。 ほとんどの授業にてテーマに沿って、調査や取りまとめた課題を報告し、意見交換をする、または学外にて調査を行うなどアクティブラーニング型の授業を行う。								
授業計画	西洋庭園様式のそれぞれについて関連する科学論文や著書を読んで理解を深める。								
授業の到達目標	1) 授業を通じて、西洋庭園についての幅広い知識を身に付けます。 2) 西洋庭園の歴史について知識を身につけます。 3) 西洋庭園の作庭技術について詳しくなります。								
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・技能と教養-(1)食・緑」の専門分野における高度な知識・技能／2. 人間力・社会性・国際性-(2)課題を広い視野で捉え、客観的に評価ができる。／2. 人間力・社会性・国際性-(4)自分の文化や異なる文化を理解でき、文化を超えて交流できる。								
授業時間外学習【予習】	関連する論文や書籍を読みレポートを作成し報告する。								

授業時間外学習【復習】	授業中に議論された内容を再確認し、理解を深める。
課題に対する フィードバック	課題等は確認した後に返却する。必要に応じてコメントする。
評価方法・基準	受講態度や発表、報告物に関して、課題の理解、関係資料の活用、論点の整理、独自の視点、プレゼンテーションなどについて総合評価する。
テキスト	関連書籍及び関連論文
参考書	授業において提示する。主なものを以下に挙げておく。 ①『ヨーロッパ庭園物語』ガブリエーレ・ヴァン・ズイレン著、創元社、1999 ②『庭園の世界史』ジャック・ブノアメシヤン、講談社学術文庫、1998 ③『世界の庭園歴史図鑑』ベネロピ・ボブハウス、原書房、2014
備考	